

平成27年度 宮城県渋滞対策連絡協議会

第 1 回 資 料

平成27年8月

目次

1. 宮城県渋滞対策連絡協議会のこれまでの流れについて
2. 主要渋滞箇所のモニタリング結果について
3. 渋滞対策の基本方針(案)について
4. 今後の調査・検討方針(案)について

1. 宮城県渋滞対策連絡協議会のこれまでの流れについて

宮城県渋滞対策連絡協議会のこれまでの流れ【平成24年度～平成25年度】

- 平成24年度は、協議会での議論・検討及び道路利用者の意見（パブリックコメント等）を踏まえ、地域の主要渋滞箇所として平成25年1月に「宮城県の主要渋滞箇所」を公表
- 平成25年度は、平成24年度に特定・公表した主要渋滞箇所をもとに「宮城県の渋滞箇所に係る渋滞対策の基本方針（案）」を決定

H24年度 第1回渋滞協(H24. 7. 13)

交通基礎データの共有、意見交換 等

H24年度 第2回渋滞協(H24. 8. 9)

主要渋滞箇所抽出の考え方、パブリック・コメント実施方針の確認

H24年度 第3回渋滞協(H24. 11. 15)

主要渋滞箇所(素案)の決定

H24年度 第4回渋滞協(H24. 12. 21)

パブリック・コメント等を含めた地域の主要渋滞箇所の特定

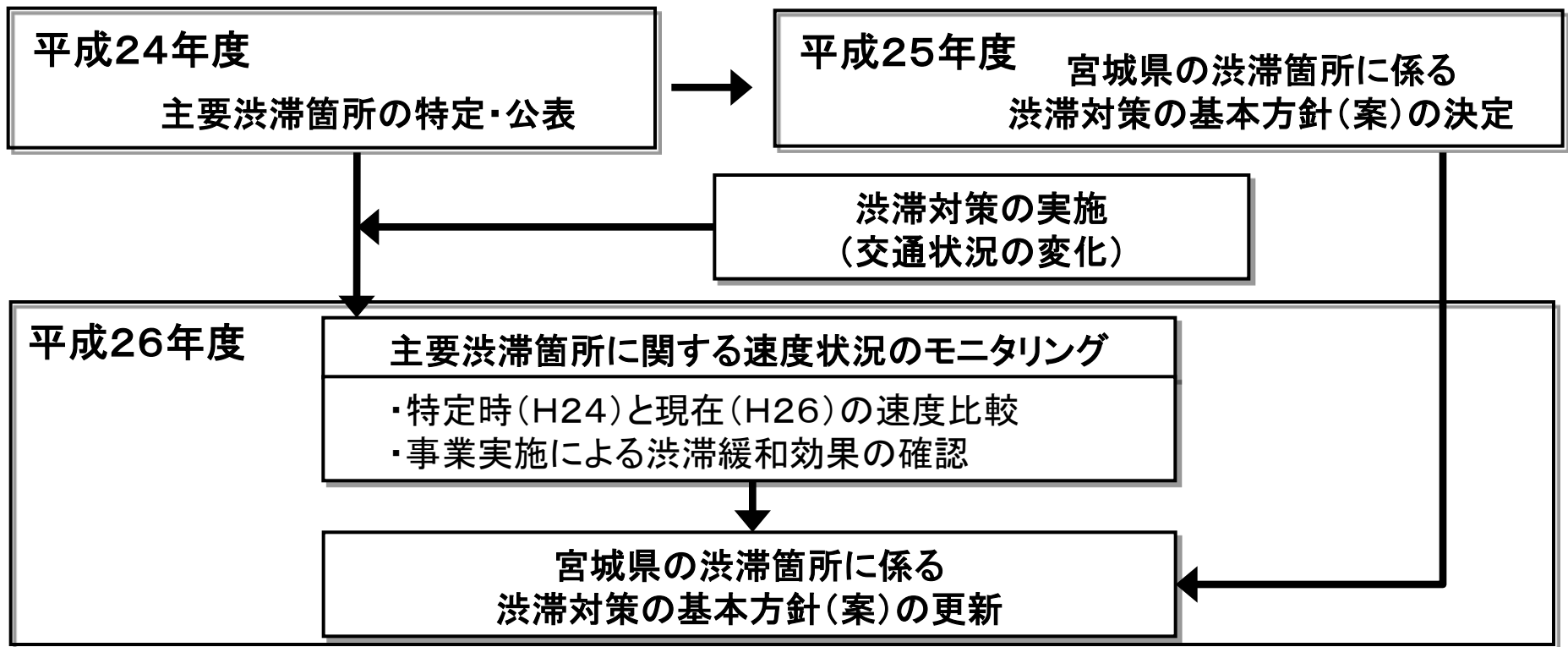
主要渋滞箇所の公表(H25. 1. 24)

H25年度 第1回渋滞協(H25. 7. 12)

今後の進め方(案)、渋滞対策の基本方針(案)の確認

宮城県渋滞対策連絡協議会のこれまでの流れ【平成26年度～】

- 平成26年度は、特定した主要渋滞箇所について、速度状況のモニタリングを行い、道路整備等の渋滞対策を実施したことによる渋滞状況の変化を把握
- 宮城県内の4つのエリア(仙台市北部、仙台市中心部、仙台市南部、石巻)について、関係機関による準備会を開催し、具体的な渋滞対策の基本方針(案)を策定

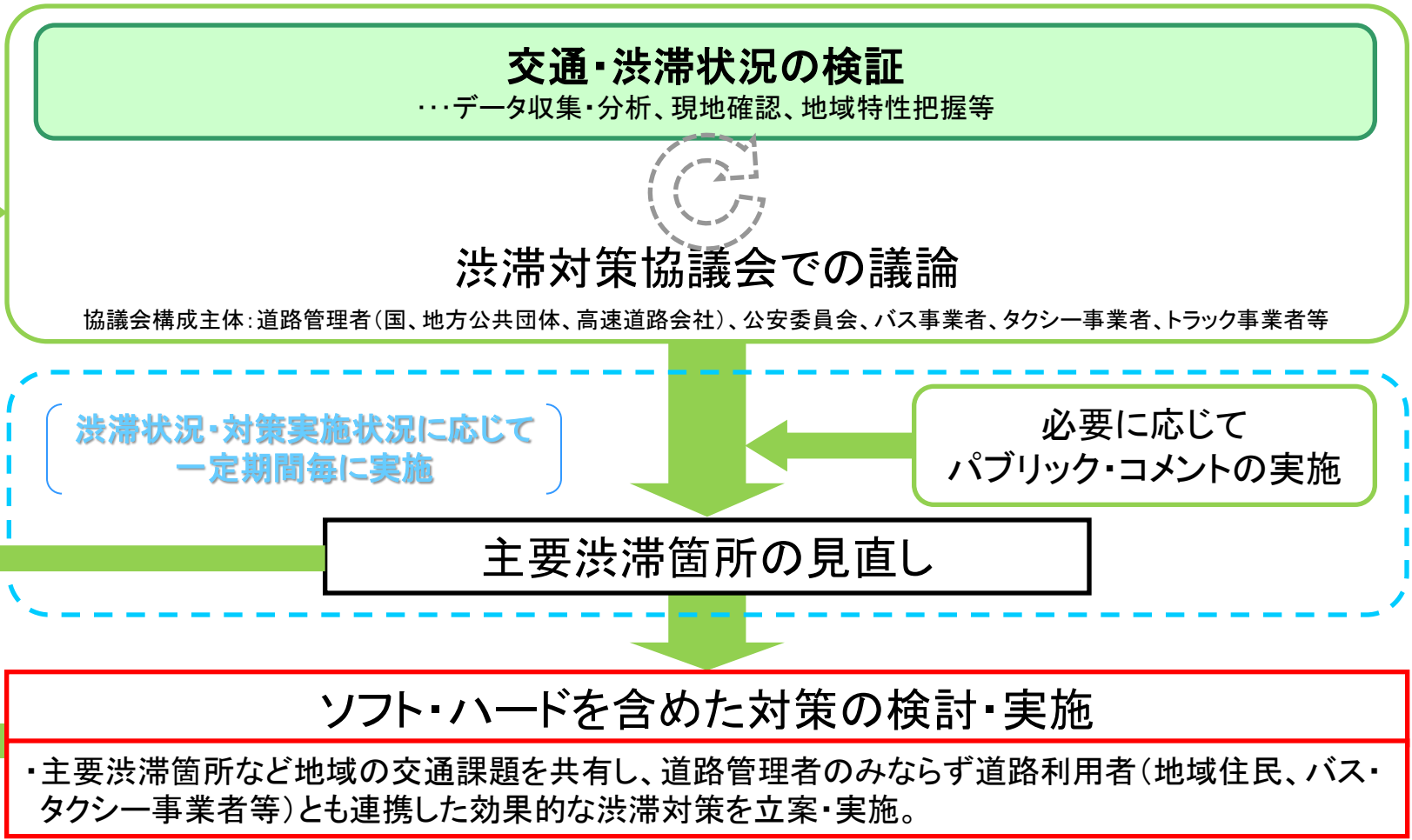


平成27年度
第1回渋滞協

- 主要渋滞箇所のモニタリング結果
- 渋滞対策の基本方針(案)
- 今後の調査・検討方針(案)

- 最新交通データ等を用いた渋滞状況や交通状況の検証について渋滞対策協議会で議論、地域の声を反映し特定された主要渋滞箇所について効果的な渋滞対策(ソフト・ハード)を以下のマネジメントサイクルに従い、推進
- 平成26年度は平成25年度に決定した「宮城県の渋滞箇所に係る渋滞対策の基本方針(案)」について、より具体的な対策内容を策定

モニタリング等による検証



2. 主要渋滞箇所のモニタリング結果について

主要渋滞箇所におけるモニタリング結果

■ 宮城県内における主要渋滞箇所は以下のとおり。

参考資料1：主要渋滞箇所位置図

◎ 一般道路 251箇所

- ◆ エリア： 4エリア ※34区間(89箇所)と22箇所含む
- ◆ 区間： 30区間 ※89箇所含む
- ◆ 箇所： 51箇所

エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

◎ 高速道路 18区間

- 主要渋滞箇所の速度変化をモニタリング(H26年度) ※H24.4~9とH26.4~9のデータを比較
- 宮城県内251箇所の主要渋滞箇所のうち、渋滞が緩和している箇所は3箇所
 ⇒対策実施状況等を踏まえたモニタリング(効果検証)を継続

※「渋滞が緩和」は対象とするすべての流入方向で渋滞が緩和している交差点、「渋滞が一部緩和」は対象とする流入方向のうち一部で渋滞が緩和している交差点

▼モニタリング結果(主要渋滞箇所数)

宮城県内合計	渋滞が緩和*	渋滞が一部緩和*	渋滞緩和なし
251箇所	3箇所	20箇所	228箇所

▼上記のうち、対策実施により渋滞が緩和された箇所

モニタリング結果	該当箇所数	主要渋滞箇所名
渋滞が緩和	1箇所	蔵王町箆石交差点
渋滞が一部緩和	5箇所	中原入口交差点、苦竹交差点、駅東3丁目交差点、松島海岸駅前交差点、根廻交差点

参考資料2：宮城県内主要渋滞箇所モニタリング結果(一般道路)

対策による効果が見られた主要渋滞箇所のモニタリング結果

- 坂下拡幅、金ヶ瀬拡幅の整備により、平日渋滞箇所のうち3交差点3方向の渋滞が緩和した。
- 仙台松島道路、古川東バイパスの整備により、休日渋滞箇所のうち3交差点3方向の渋滞が緩和した。

○ 効果検証のためのモニタリング(速度変化等)

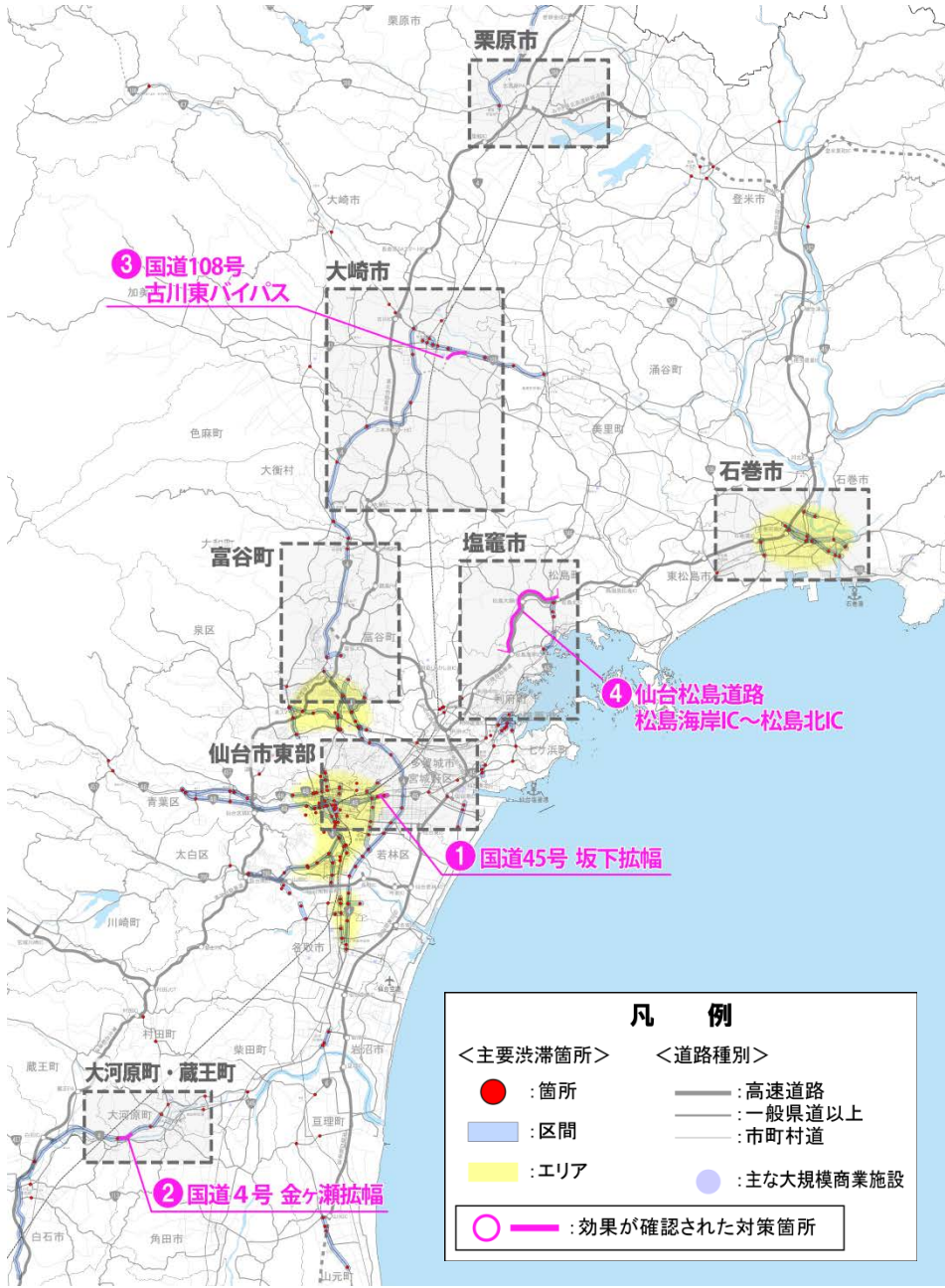
・代表的なモニタリング箇所として、主要渋滞箇所特定時に評価した指標(H24.10)以降に開通した主要渋滞箇所に関連する事業と検証結果を以下に示す。

No	主要渋滞箇所名	事業名	供用日	整備概要	事業主体	効果検証結果
1	蔵王町籠石交差点	国道4号 金ヶ瀬拡幅	H25.3	1.35km 4車線拡幅	仙台河国	・下り方向(仙台方面)の速度が改善 (17.8km/h ⇒ 36.4km/h)
2	中原入口交差点	国道45号 坂下拡幅	H24.12	0.5km 4車線拡幅	仙台河国	・下り方向(塩釜方面)の速度が改善 (5.5km/h ⇒ 33.4km/h)
3	苦竹交差点					・下り方向(塩釜方面)の速度が改善 (17.0km/h ⇒ 21.5km/h)
4	駅東3丁目交差点	国道108号 古川東バイパス	H25.3	2.3km 2車線部分開通	仙台河国	・下り方向(鳴子方面)の速度が改善 (14.1km/h ⇒ 25.2km/h)
5	国道45号 松島海岸駅前交差点	仙台松島道路 松島海岸IC ～松島北IC	H26.3	7.5km 4車線拡幅	宮城県 道路公社	・下り方向(石巻方面)の速度が改善 (17.2km/h ⇒ 26.5km/h)
6	国道45号 根廻交差点					・下り方向(石巻方面)の速度が改善 (17.5km/h ⇒ 34.3km/h)

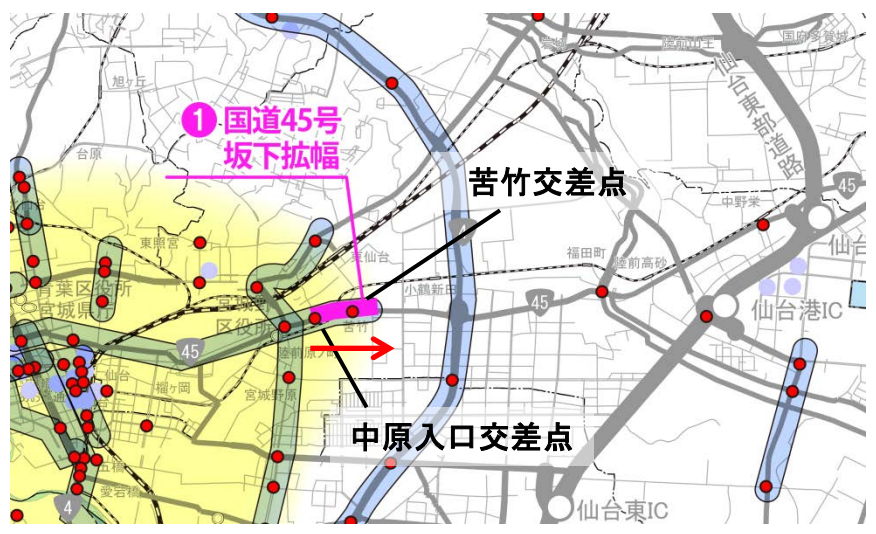
参考資料3：対策による効果が見られた主要渋滞箇所カルテ

渋滞緩和効果が見られた事業の位置①

【全体図】

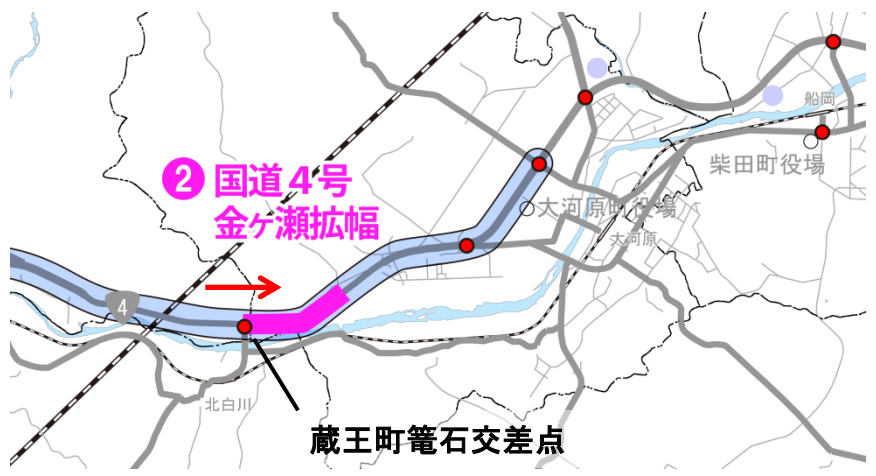


【仙台市東部】



H24.12 4車線拡幅〔国道45号坂下拡幅〕

【大河原町・蔵王町】

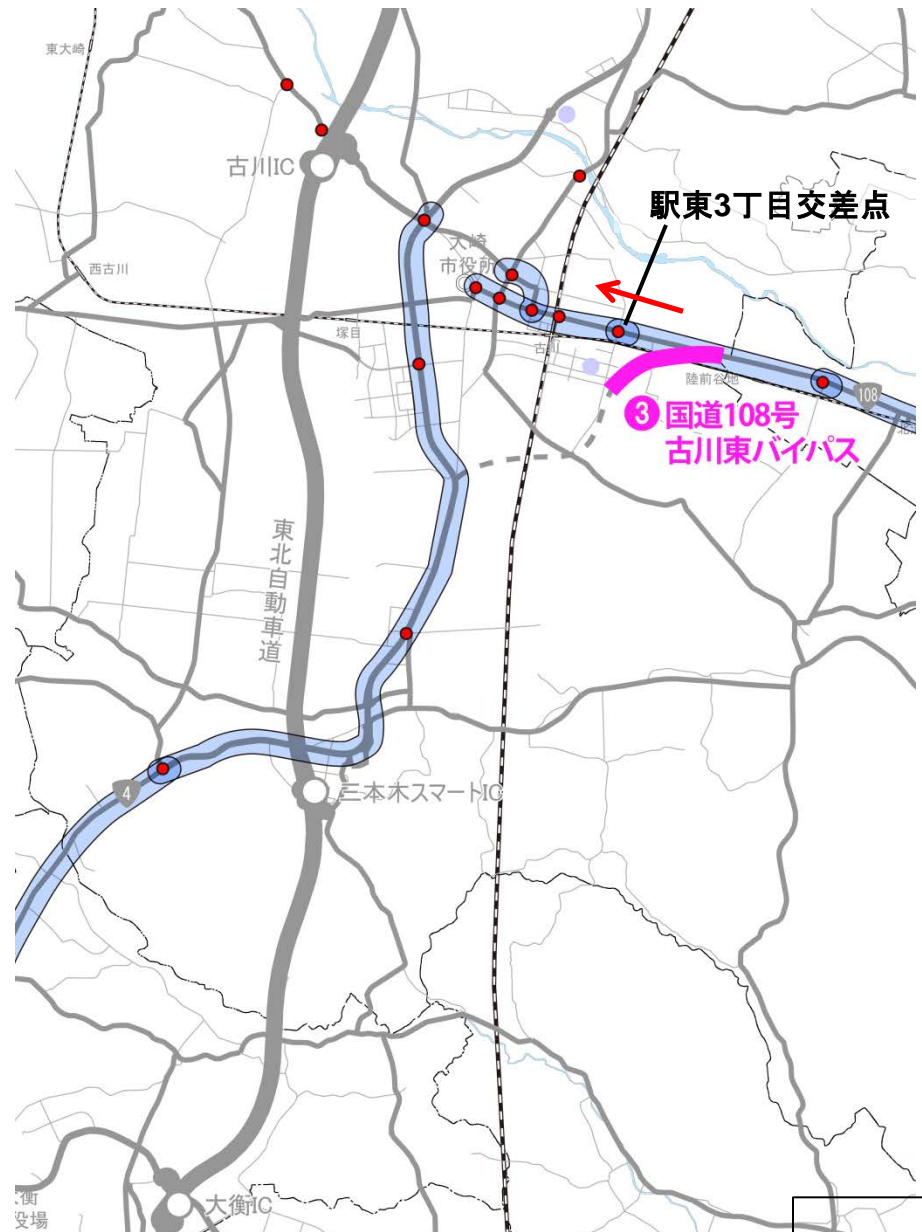


H25.3 4車線拡幅〔国道4号金ヶ瀬拡幅〕



渋滞緩和効果が見られた事業の位置②

【大崎市】



H25.3 一部開通〔国道108号古川東バイパス〕

【松島市】



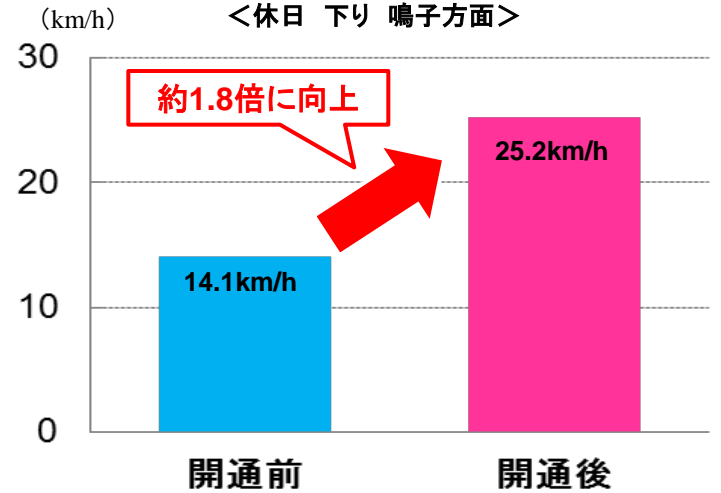
H26.3 4車線化拡幅〔仙台松島道路〕

【一般国道108号 古川東バイパス 一部開通】（平成25年3月20日開通）

- 駅東3丁目交差点の旅行速度が休日の下り線で約1.8倍に向上
- バイパス整備の促進とともに、モニタリングによる効果検証を継続

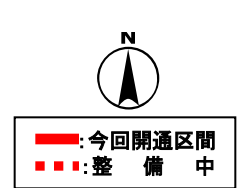
【事業概要】 全体延長 L=5.1km（開通延長 L=2.3km）

▼バイパス開通による旅行速度変化（駅東3丁目交差点）



※民間プローブデータより
開通前：H24.4～9 開通後：H26.4～9

【駅東3丁目交差点下り方向の渋滞状況】



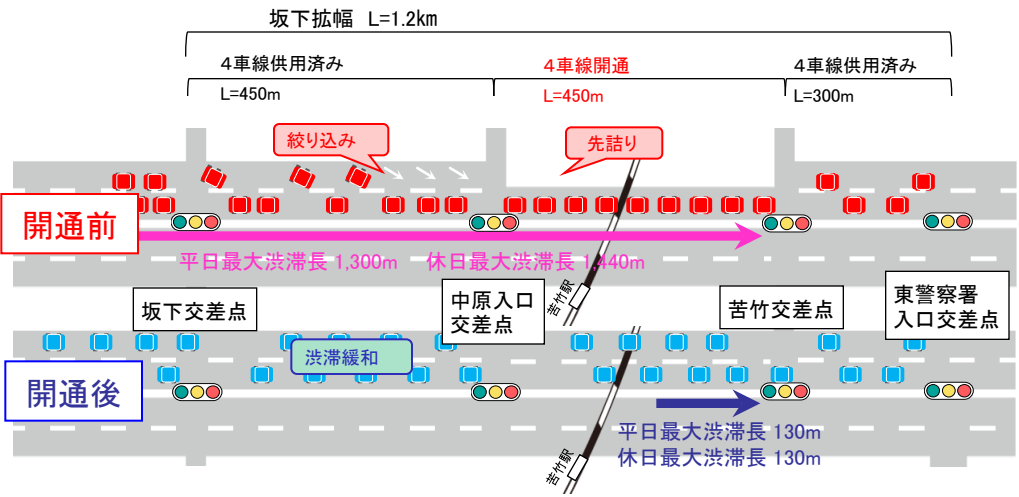
● 中原入口及び苦竹交差点の旅行速度が平日の下り線でそれぞれ約6.1倍、1.3倍に向上

【事業概要】

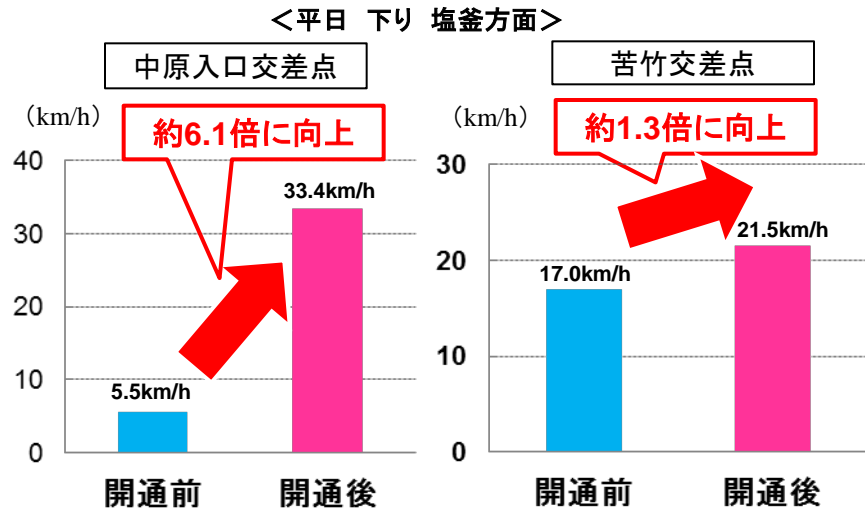
全体延長 L=1.2km（今回開通延長 L=0.45km）



▼ 坂下拡幅区間（下り方向）の渋滞発生状況



▼ 4車線拡幅による旅行速度変化（中原入口交差点・苦竹交差点）



▼ 中原入口交差点の渋滞緩和状況



▲開通前（11月14日 午前8時）

▲開通後（12月25日 午前8時）は交通がスムーズに

※民間プローブデータより
開通前：H24.4～9 開通後：H26.4～9

3. 渋滞対策の基本方針(案)について

宮城県全体における渋滞対策の基本方針(案)【更新案】

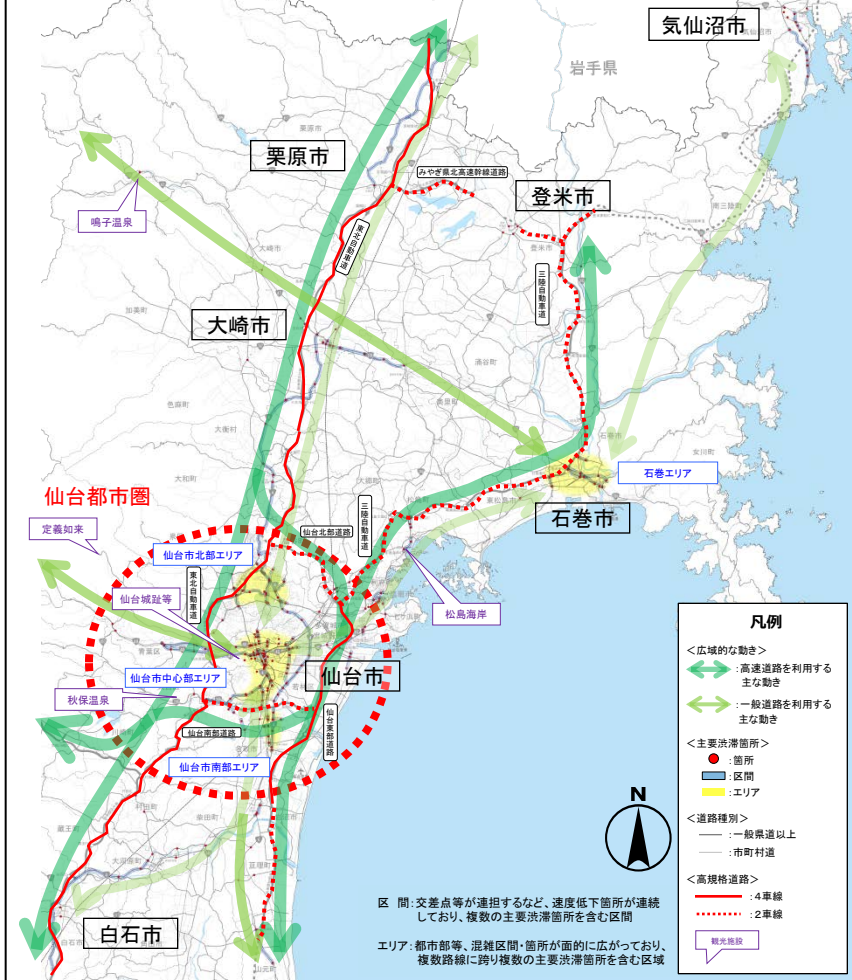
1. 宮城県の概況

概要	
宮城県市街地の状況	<ul style="list-style-type: none"> 県都仙台市は、東北地方の中核都市として高次都市機能が集積しており、仙台市を中心とする仙台都市圏を形成。その他に、気仙沼市、石巻市、登米市、栗原市、大崎市、白石市を中心とした地方圏が存在。 東北地方の中では温暖で積雪量は少ない地域。 東日本大震災により、海岸部市町村は壊滅的な被害を受け、復興に向けたまちづくりが現在進行中。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な交通流動は、県内各地域圏及び県外から仙台都市圏への流動が中心。 交通が集中する仙台市は、日常生活や経済活動に影響を与える渋滞箇所が集中。 通勤通学のラッシュ時には、生活圏中心都市と周辺市町村を連絡する幹線道路においても、渋滞が発生。 県内の高規格幹線道路は事故等による通行止めが多発しており、通行止め時は並行する幹線道路における速度低下が著しい。 主要観光地へのアクセス道路においても、休日・観光期等に渋滞が発生。

2. 対策の方向性

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県内において発生している渋滞については、中・長期的な視点に立ち、各都市のまちづくりの基本方針および整備目標等との整合性を図りつつ、各施策を推進。 道路利用者のサービス向上に繋がる情報提供(道路交通情報、迂回路情報)を推進。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 高規格幹線道路等のミッシングリンクを解消し大幅な交通転換を図るとともに既事業中のバイパス、現道拡幅事業を推進。 特定の交差点で発生しているボトルネックについては、交差点改良等の構造改善など個別に検討。

3. 宮城県全体の交通ネットワークイメージ



基本方針(案)

- 渋滞対策連絡協議会において、下記の基本方針にて渋滞対策の検討を進める。
 - ① 高規格幹線道路をはじめとする主要な幹線道路の整備により、広域的な動きを支える道路ネットワークの強化。
 - ② 主要渋滞箇所が集中する市街地エリアでは、ハード施策にソフト施策などの組み合わせによる対策。
 - ③ その他地方部等の点在する主要渋滞箇所については、**渋滞の特徴を確認・把握するとともに、渋滞要因に応じて交差点改良などの個別の渋滞対策。**
 - ④ 渋滞対策実施に伴う渋滞軽減効果等の検証を行うことで、必要に応じ更なる対策の検討。

仙台市中心部における渋滞対策の基本方針(案)【更新案】

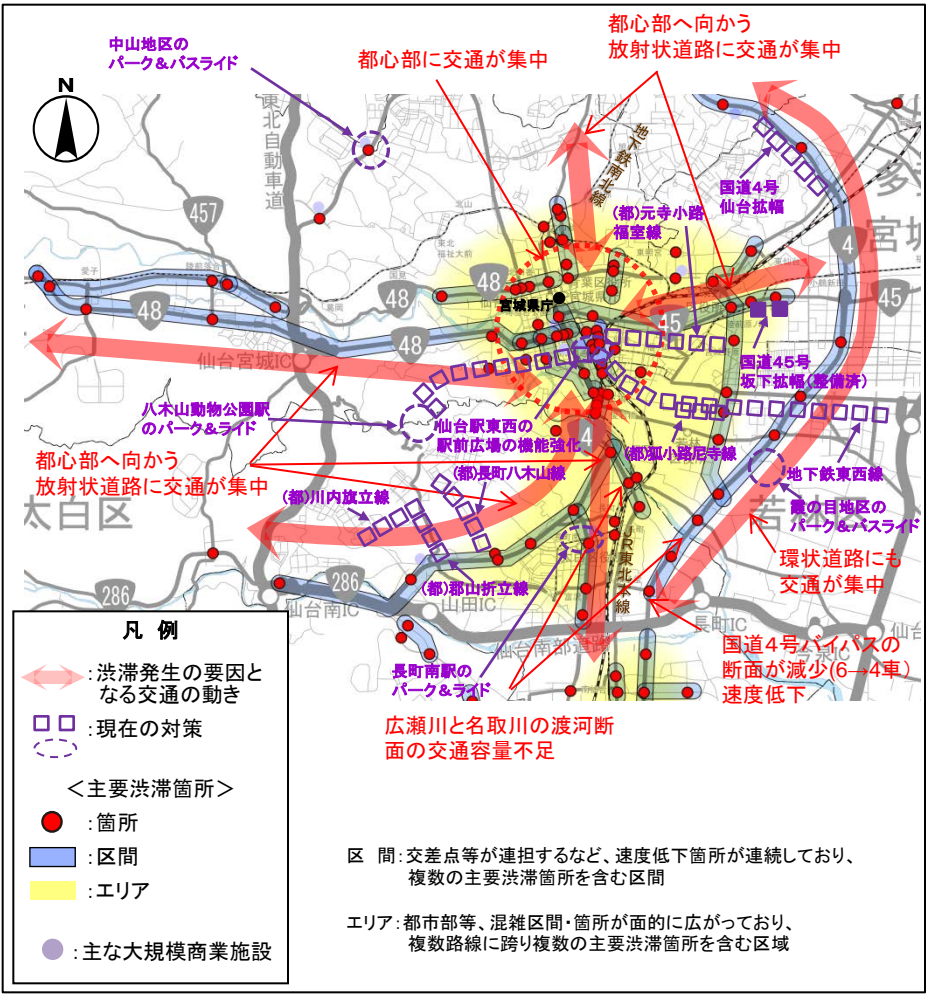
1. 仙台市中心部周辺の概況

概要	
仙台市中心部の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県都仙台市は、東北地方の中核都市として、商業・業務施設に加え、国際交流機能、文化・芸術機能、居住機能など多様な機能が集積。 ・これらの機能は、宮城県庁やJR仙台駅周辺に集中し、都心部を形成。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能が集中する都心部に交通が集中し、都心部では主要渋滞箇所が連続。 ・周辺住宅地などと都心部を結ぶ放射状道路や、仙台都市圏環状道路を形成する国道4号仙台バイパスでも渋滞が発生。 ・仙台市中心部は、JR東北本線、地下鉄南北線をはじめとして、南北方向に鉄軌道系の公共交通網が発達。

2. 現在の対策等

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台市総合計画」では、自然と調和し持続可能な潤いの都を将来像に掲げ、過度な自動車利用の抑制と、公共交通を中心とした交通体系の構築を目指しており、ICカード乗車券「icsca(イクスカ)」の導入やモビリティマネジメント(MM)を推進(市民、交通事業者、企業、学校等と協働で行う公共交通利用促進のソフト施策)。その1つとして長町南駅における商業施設と連携したパーク&ライドを推進中。 ・また、平成27年に予定されている地下鉄東西線の開業、地下鉄東西線と連携を図ったバス路線の再編や、仙台駅東西の駅前広場の機能強化等の施策を推進。八木山動物公園駅では市営駐車場を活用したパーク&ライドを実施。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・国道4号仙台拡幅【国土交通省】、(都)元寺小路福室線等【仙台市】の整備を行うことで、幹線道路ネットワーク強化による渋滞緩和を図る。 ・(都)長町八木山線や(都)郡山折立線、(都)川内旗立線、(都)狐小路尼寺線等【仙台市】の整備を行うことで、平成27年に開業する地下鉄東西線駅のアクセス道路を強化し、軌道系交通機関への転換を図る。

3. 仙台市中心部周辺の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針(案)

■ 国道4号仙台拡幅、(都)元寺小路福室線等の幹線道路の整備を進めるとともに、都心部での過度な自動車利用を抑制し、適切な機関分担を図るため、地下鉄東西線事業と連携した総合的な対策の実施や地下鉄東西線へのアクセス道路となる(都)長町八木山線等の整備を進める。また、渋滞要因並びに軽減効果等の検証を適宜行い必要に応じ更なる対策検討を実施。

仙台市北部における渋滞対策の基本方針(案)【更新案】

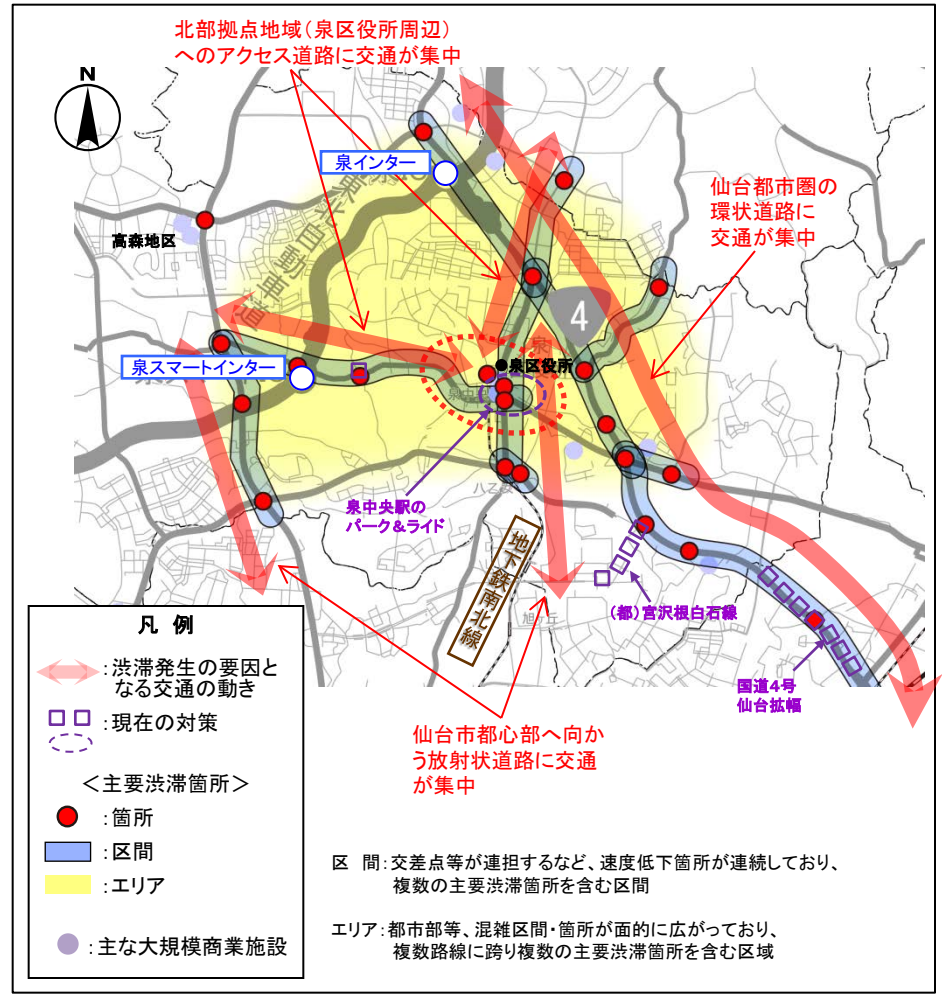
1. 仙台市北部周辺の概況

概要	
仙台市北部の状況	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市北部に位置する泉中央駅周辺は、仙台市の北部拠点地域と位置づけられ、泉区役所や商業施設などの都市機能が集積。 東北自動車道西側、国道4号仙台バイパス東側にまで住宅地が拡がり、泉IC周辺や高森地区など郊外部にも大規模商業施設が集積。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市北部は、東北自動車道の泉IC、泉スマートICがあり、高速道路の利便性が高い地域。 泉ICと接続し、仙台都市圏の環状道路となる国道4号仙台バイパスや、泉スマートICや仙台バイパスと仙台市都心部を結ぶ放射状道路では、渋滞が発生。 さらに、周辺住宅地と北部拠点地域(泉区役所周辺)を結ぶ幹線道路でも渋滞が発生。 なお、当該地域では、仙台市都心部と直結する地下鉄南北線が運行。

2. 現在の対策等

概要	
総合対策等	<p>「仙台市総合計画」では、自然と調和し持続可能な潤いの都を将来像に掲げ、過度な自動車利用の抑制と、公共交通を中心とした交通体系の構築を目指しており、ICカード乗車券「icsca(イクスカ)」の導入やモビリティマネジメント(MM)を推進(市民、交通事業者、企業、学校等と協働で行う公共交通利用促進のソフト施策)。その1つとして泉中央駅における商業施設等と連携したパーク&ライドを推進中。</p>
道路整備	<p>国道4号仙台拡幅【国土交通省】、(都)宮沢根白石線【仙台市】の整備を行うことで、交通容量の拡大、都心部発着交通の分散による渋滞緩和を促進。</p>

3. 仙台市北部周辺の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針(案)

■ 国道4号仙台拡幅、(都)宮沢根白石線の着実な整備を推進するとともに、公共交通利用を促進する総合対策による渋滞対策を進める。また、これらの事業による渋滞軽減効果等を把握・検証し、必要に応じ更なる対策検討を進める。

仙台市南部における渋滞対策の基本方針(案)【更新案】

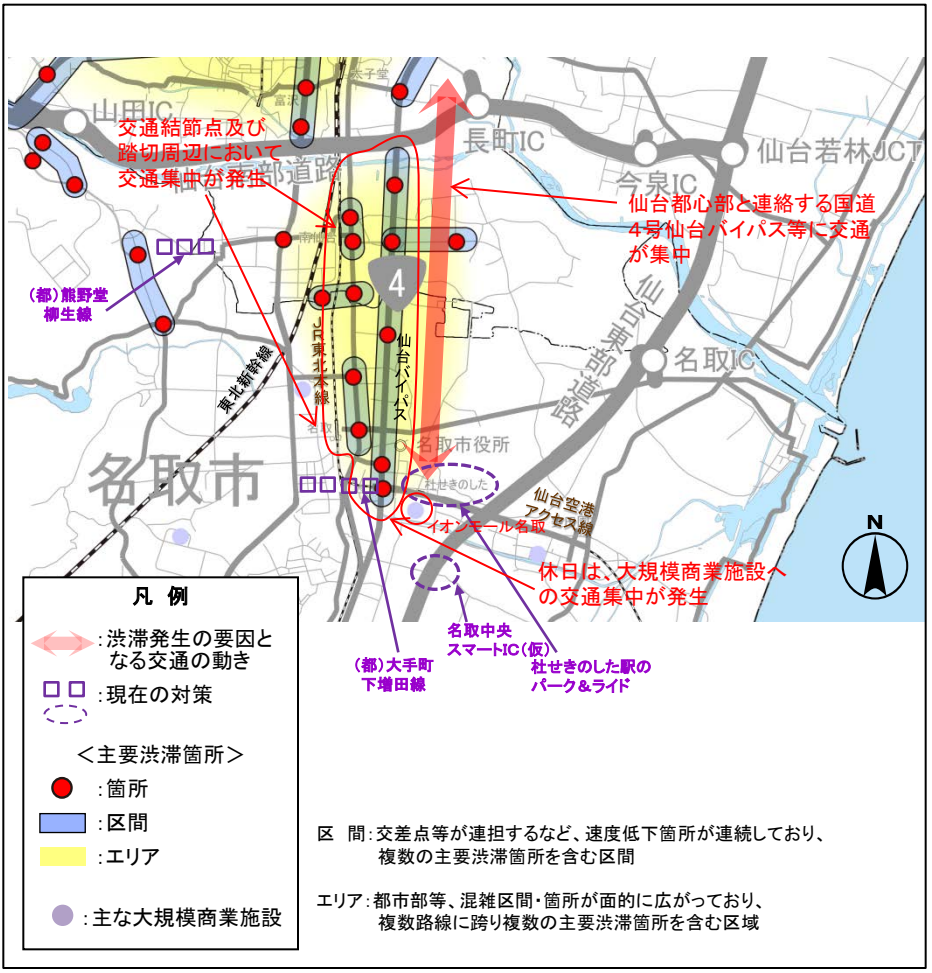
1. 仙台市南部周辺の概況

概要	
仙台市南部の状況	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市南部の南仙台駅周辺は、宅地化が進む地域であり、隣接して仙台市の通勤圏である名取市が位置。 これらの地域を南北に縦断する国道4号仙台バイパス、それに並行する旧道(県道仙台名取線)には、商業施設が集積し、特に、名取市杜せきのした地区の大規模店舗には、休日に多くの買い物客が来訪。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市都心部と連絡する国道4号仙台バイパス、旧道で渋滞が発生。 国道4号バイパスは、周辺に大規模店舗が立地していることもあり、平日に比べ休日の渋滞がより顕著。 仙台市南部地域には、JR東北本線、仙台空港アクセス線が運行。

2. 現在の対策等

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 「仙台市総合計画」では、自然と調和し持続可能な潤いの都を将来像に掲げ、過度な自動車利用を抑制し、公共交通を中心とした交通体系の構築を目指している。 名取市において、「名取市第五次長期総合計画」の主要施策として公共交通の利用促進を掲げており、杜せきのした駅でのパーク&ライドを実施。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 名取中央スマートIC(仮)【名取市】の整備により、国道4号等からの仙台東部道路への交通転換などを促進。 (都)大手町下増田線、(都)熊野堂柳生線の整備推進により交通を円滑化。

3. 仙台市南部周辺の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針(案)

■名取中央スマートIC(仮)や(都)大手町下増田線【宮城県, 名取市】、(都)熊野堂柳生線【名取市】の着実な整備を推進するとともに、公共交通利用を促進する総合対策による渋滞対策を進める。また、これらの事業による渋滞軽減効果等を把握・検証し、必要に応じ更なる対策検討を実施。

石巻市における渋滞対策の基本方針(案)【更新案】

1. 石巻市周辺の概況

概要	
石巻市市街地の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県第2の都市である石巻市は、市中心部に旧北上川が流れており、右岸エリアに市役所や商業施設等が集積する中心市街地が形成され、左岸エリアには漁業、製造業が集積。 石巻河南IC周辺地域には、住宅地や大型郊外店が立地し、新市街地として発展。 東日本大震災により、海岸部は壊滅的な被害を受け、復興に向けたまちづくりが現在進行中。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能が集積する石巻市には、周辺市町村からの通勤通学・買物客が集中するため、中心市街地や旧北上川橋梁部で渋滞が発生。 仙台市や登米市と連絡する三陸沿岸道路や、ICアクセス道路で渋滞が発生。 公共交通機関である鉄道は、東日本大震災で被災し、復旧作業を進めていたが、JR仙石線については平成27年5月に全線運行再開。

2. 現在の対策等

概要	
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 「石巻市震災復興基本計画」を策定し、復興まちづくり計画に合わせた鉄道路線整備(復旧)、バス路線構築(変更・新設)を目指している。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 復興道路である三陸沿岸道路「矢本石巻道路」4車線化、石巻女川IC【国土交通省】の整備により走行性の向上を図るとともに、中心市街地発着交通を分散。 石巻女川インター線、国道398号石巻バイパスⅡ期【宮城県】等の整備促進により中心市街地の渋滞緩和。 (都)矢本門脇線、(都)門脇流留線【宮城県】等の整備により、中心市街地の幹線道路ネットワーク強化。

3. 石巻市周辺の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針(案)

■三陸沿岸道路「矢本石巻道路」4車線化や石巻女川ICの高規格幹線道路の整備を進めるとともに、国道398号石巻バイパスⅡ期、石巻女川インター線や(都)門脇流留線、(都)矢本門脇線の整備を推進する。また、JR仙石線の全線復旧(仙石東北ラインの開業を含む)による交通流動の変化、東日本大震災復興事業による一時的な交通需要等の推移に留意しながら、渋滞軽減効果等を把握し、必要に応じ更なる対策検討を進める。

4. 今後の調査・検討方針(案)について

■ 今後の調査・検討内容

- ◆ 主要渋滞箇所におけるモニタリングの継続実施
- ◆ 渋滞緩和につながる事業の完成に伴う効果の検証
- ◆ 地下鉄東西線開業を契機とした公共交通機関へのシフトを図るための各種施策の実施及び効果把握のための調査
- ◆ 主要渋滞箇所における渋滞要因に基づいた対策案の整理
(4エリアを除く)
- ◆ 東日本大震災復興関連車両の影響の整理

主な事業の実施(開通)時期(平成26・27年度)

- 平成26年度は常磐道の開通、三陸道の4車線化、平成27年度には三陸道の開通・4車線化やJRの復旧、地下鉄東西線の開業等、渋滞緩和が期待される多くの事業が完成予定。
- これらの事業実施により、広域的な自動車交通の変化が想定され、一般道の主要渋滞箇所的大幅な渋滞緩和に期待。

▼主な事業の実施(開通)時期(平成26・27年度)

実施年度	対策名	対策の概要	実施予定月
平成26年度	常磐自動車道	相馬IC～山元ICの開通	H26. 12開通済
	仙台松島道路	松島北IC～鳴瀬奥松島ICの4車線化	H27. 3開通済
平成27年度	仙台市地下鉄東西線	八木山動物公園駅～荒井駅の開業	H27. 12
	仙塩道路	仙台港北IC～利府中IC(利府JCT)の4車線化 多賀城ICの新設	H27年度中
	矢本石巻道路	石巻女川ICの新設 鳴瀬奥松島IC～石巻女川ICの4車線化	H27年度中
	登米志津川道路	登米東和IC～(仮)志津川ICの開通	H27年度中
	国道108号 花淵山バイパス	花淵山バイパスの開通	H27年度中
	国道4号築館バイパス	築館バイパス一部延伸開通	H27年度中
	各都市計画道路	地下鉄東西線アクセス道路の開通	H27年度中

平成27年度の具体的な取組み内容(案)

- 平成27年度については、昨年度と同様主要渋滞箇所の継続的なモニタリングを実施。
- 平成26・27年度中に実施される事業の効果検証のため、トラカンやプローブデータを活用しながら、周辺路線の交通量・速度の変化について把握。

▼平成27年度の具体的な取組み内容(案)

取組み項目	実施内容		必要な調査・データ
主要渋滞箇所の継続的なモニタリング	主要渋滞箇所の速度状況の変化を把握		速度調査 (プローブデータ)
個別渋滞箇所の要因分析	地方部に点在する個別主要渋滞箇所について、渋滞の実態把握及び要因分析を実施		速度調査 (プローブデータ)
平成26・27年度中に実施される事業の効果検証 (広域的な自動車交通の変化が想定される事業)	①常磐道・三陸道の開通・4車線化	高規格道路への交通転換による並行現道の交通量減少及び速度向上を把握	交通量調査(トラカン) 速度調査 (プローブデータ)
	②仙台市地下鉄の開通	地下鉄利用による並行現道の交通量減少及び速度向上を把握 自動車から地下鉄・バス等公共交通機関への転換状況	交通量調査(トラカン) 速度調査 (プローブデータ) アンケート・ヒアリング調査等
	③バイパス、各都市計画道路の開通	新たな道路整備に伴う交通流動の変化を把握	交通量調査(トラカン) 速度調査 (プローブデータ)